会長明からき流

「夕歩道」とは 夕張川と流域住民をつなぐ 川の道です

※夕歩道の「紙面」の色は、夕張川の水の色を表現しています。

夕步道



令和7年 春 其の<mark>四</mark>六

* 夕張川の川の学習活動~川を使った総合学習の様子

タ張川流域の小中学校が総合学習の時間を使って川の学習活動(川の楽習会)を実施しています。川の楽習会は、川歩き、生き物しらべが中心で学校によっては川下りやライフジャケットを着て川流れなどをしています。

ゆうばり小学校 日時: R6.7.18 場所:ホルカクルキ川









由仁小学校 日時:R6.7.2 場所:ポンウエンベツ川









川の指導者講習会

川の指導者講習会は、川活動を指導できる人材育成を目的に平成22年に始まり、平成24年から毎年開催されてきました。講師は流域生態研究所の妹尾氏で、サポートスタッフはNPO雨煙別学校、今年度講習は2日間にわたり座学と実技を行いました。(実施日:R6年6月22日、23日 実施場所:清幌床止め、長沼頭首工下流等)

ì		
	主な項目	詳細
	<座学 1>	・「川」という自然を通して学ぶこと
	・川で何を教えるか	・体験、行動させることの大切さ
	・川の仕組み、成り立ち	・瀬、淵の成り立ちとその機能の理解
	・魚類の生態、川の環境	・自然河川と改修河川の違いを知ること
	・指導の方法	・教え込まず遊びながら学ぶこと
		・川の楽しさと怖さを学ぶこと
	<実技 1>	・川の読み方(瀬、淵の場所、渡河の場所)
	・川の歩き方	・川の歩き方、タモ網の使い方
	・魚の採り方	・採捕許可器具の説明
	・魚類観察、説明の仕方	・魚類の観察と説明の仕方
	·川流れ	・生物と河川環境の関係
	7.10164	・川の流れ方(PFD 装着で川を流れる)
	<座学 2>	・自然公物としての河川と自由使用原則
	・自然公物としての川	・低体温症と熱中症の注意予防について
	・川の危険と安全確保、準備	・レスキューの考え方とその方法
	・レスキューの考え方	・安全確保のための事前準備
	<実技 2>	・ロープレスキューの仕方
	・ボート操船、舵取り	・落水者の救助体験
	・服装、道具、装備	・ボートの操船と特性
	AIN ACTION ACTION	・現場確認と川下りの仕方











堰、床止め、頭首工などの人工構造物には魚が通る道=魚道が整備されることがあ ります。魚道には河川の状況や対象魚種によって様々なタイプがありますが、整備さ れた魚道がうまく機能していないこともあります。実際に清幌床止では、魚道の改良 を行っています。夕張川には、清幌床止と栗沢頭首工に魚道があり、魚類調査の結果、 サケ、サクラマスの遡上が確認されています。農業用水を確保するための頭首工、河

床を安定させる床止めは私たちにとってなくてはならない施設ですが、魚の移動を阻害するマイナス面もあり、 魚道の整備がとても重要になります。栗山小学校は、総合学習の時間に頭首工と魚道の役割を学んでいます。



栗山小学校の「魚道学習」 講師:流域生態研究所 学習内容:頭首工の役割、魚道の機能、魚道を使う魚の生態







メナダ

メナダは、全国で見られるボラ科の魚で、昨年初めて夕張川で確認されま した。(写真:清幌床止で確認された体長50cm超えの個体)河川下流域 から汽水域に生息しているようです。とても美味らしく九州や瀬戸内では春 から夏によく食べる白身魚だそうです。鱗がはっきりしていて目がきれいな 頭が平らで、目がオレンジ!! オレンジ色、頭が平べったいことが特徴です。※汽水域:淡水と海水が混じった水域

鱗がはっきり、くっきり!!



第46回 夕張川流域会議

●日時:令和7年3月17日(月)13:30~15:30

●場所:南幌町ふるさと物産館「ビューロー」

第46回目の夕張川流域会議が開催されました。詳細は、江別河 川事務所 HP を参照ください。





<議題>

- 1. 河川環境、河川利用に配慮した川づくりについて
 - ・今年度の工事実施報告(清幌床止、ショウドウツバメ) ・今年度の夕張川の魚類調査結果
- 2. 地域団体との連携について
 - ・今年度の河川利用状況と課題について ・河川樹木の公募による伐採利用促進について
- 3. その他(情報発信のあり方、PR等について)
 - ・夕張川ガイドブックの説明

参照:江別河川事務所 HP https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/ebetu_kasen/index.html

栗山町の「ネイチャーポジティブ宣言」

●日時: 令和6年9月14日(土)9:00~12:00 ●場所: 栗山町栗山天満宮 ネイチャーポジティブは、生物多様性条約会議(2022年12月)で定められた国 際目標で生物多様性の損失を食い止めその回復を目指すもので、日本では環境省 が生物多様性国家戦略の策定を進めています。栗山町ではこれまでハサンベツ里 山計画事業、サケ稚魚放流、環境学習活動等が行われてきましたが宣言を受けて、 町、企業、市民がより連携して各種活動に取組むことになりました。 参照: 栗山町 HPhttps://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/soshiki/60/28823.html





発行:夕張川流域会議事務局

江 別 河 川 事 務 所:〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358 夕張川ダム総合管理事務所: 〒068-0546 夕張市南部青葉町 573 電話 0123-55-5151



タ歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索

